



学校だより

12月号

令和4年11月30日
横浜市立能見台南小学校



← 学校ホームページ
QRコード

地域と共にある学校

校長 榊原 一紀

勤労感謝の日にPTA自主サークル「チャレンジ・スマイル」の最後の活動が行われました。本校の子どもたちの130名ほどが参加して、砂絵やバスボム、スライムなどを作る活動を楽しんでいました。この活動は10年以上の歴史があって、たくさん子どもたちが様々な講座に参加しました。子どもが生き生きと活動している様子を見て、今回で終了することを本当に残念に感じました。これまでにご協力いただいた皆様ありがとうございました。

平成27年の中央教育審議会答申に、従来の開かれた学校から一步踏み出し、目標やビジョンを地域と共有し、地域と一体となって子どもたちを育む「地域と共にある学校」への転換が提言されました。学校には地域住民と学校が力を合わせて取り組む仕組みである「学校運営協議会」と「地域学校協働本部」の設置が勧められています。本校では、3年前に「学校運営協議会」を立ち上げました。メンバーはPTA、自治会、児童委員、学識経験者、学校の代表で構成されています。先日の土曜参観に合わせて開催した第3回目の協議会では、授業参観を通して意見交流をしました。今年度は、これまでに2回の協議会を開催しています。第1回目は、能見台南小学校の今年度の方針を説明し承諾していただきました。第2回目は、地域の安全についてのご意見をいただきました。今後、第4回目の協議会では、保護者や児童、教職員のアンケートをもとに年間の振り返りをおこなう予定です。「学校運営協議会」は地域の声を聞き、学校運営に生かしていく大切な場になっています。

地域やPTAが子どもたちを育むために行っている活動は、チャレンジ・スマイルの他にも、学援隊や小さな音楽会、PTAのボランティア活動などがあり、様々な面から学校を支えてくださっています。今年度立ち上げる「地域学校協働本部」も、その一つになると考えています。今年度は、図書ボランティアを募集すると聞いています。子ども時代の本への関わりは、成長に大きく影響すると聞いたことがあります。私の子どもが小さかった頃、地域の図書館にいくと、端の方で読み聞かせを聞いているお子さんを見て微笑ましく感じたことがありました。休み時間の学校図書館にそんな風景が見られたら嬉しいなと思っています。活動は今後拡大していく予定と聞いています。地域の方や保護者の方が興味のある活動や出来そうな活動に参加していただくことで、能見台南小学校の子どもたちの成長を支える仕組みがさらに発展すると期待しています。

来年度行事予定について

教育活動の充実と近年の気候の変化を考慮して、次のように来年度は行事の開催時期を変更する予定です。ご理解とご協力をお願いします。

- | | | | | | |
|-----------|-------|-------------|----|----------|----|
| ・南小オリンピック | 10月下旬 | ・個別支援学級体験学習 | 5月 | ・4年生体験学習 | 5月 |
| ・5年生体験学習 | 6月 | ・6年生修学旅行 | 7月 | | |